

1. 件名：泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年12月13日(水) 11時05分～11時40分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、鈴木安全審査  
専門職、谷主任安全審査官、井清係員、松末技術参与

北海道電力株式会社：松村執行役員 原子力事業統括部 原子力土木部長  
他11名

三菱重工業株式会社 2名

(※このうち7名はテレビ会議システムによる出席)

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・泊発電所3号炉 基準津波に係る残されている審査場の論点の説明時期  
について

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁谷です。面談を始めます今日の面談の案件としては、泊発電所3号炉基準津波に係る、残されている審査上の論点と説明時期と、
0:00:13	いう資料が来てるんですけどこれ、あれですよ、先週のラップアップ件。
0:00:18	どう今どう考えてるかっていう説明をするってということかと思しますので、資料、
0:00:25	今日出てきた資料。
0:00:27	で、説明いただいた後に、細かくにしたりしたいと思いますのでお願いします。
0:00:35	はい。北海道電力の松村です。本日の面談よろしく願いいたします。
0:00:40	谷さんからありました通り、基準津波に関する論点の説明時期ということで、今後どのようなスケジュール、
0:00:49	期間それからどういう項目を説明していきたいかという辺りを中心に説明させていただければと思います。
0:00:59	それからあわせて津波終了後に地震動、先日の11月17日の会合、
0:01:07	からですね、まとめ資料に向けて一部表現を修正等々したいところもございまして併せて、津波の終わった後に説明させていただければと思いますよろしく願いします。
0:01:19	それでは津波に関しては、松浦から説明いたします。
0:01:26	北海道電力の松浦です。どうぞよろしく願いいたします。それではお手元の資料で、説明の方をさせていただきたいと思っております。1ページめくっていただきまして、
0:01:37	2枚目のスライドになります。残されている審査上の論点と説明時期についてということで私たちの今考えていることを整理させていただいてございまして、
0:01:48	下に表がございまして、これはさっきの審査会合の方でも、
0:01:52	共有ありましたが、残された論点、番号で言いますと6、7、9。
0:01:59	8、及び1011と、それぞれの項目がここに記載してあります通り、6番で言いますと積丹半島北西沖に地震断層として想定するとした断層による津波評価7はジャズトンネル及び、
0:02:14	アクセスルートトンネルの影響を確認すること。
0:02:19	9番が、地震、基準津波による遡上津波高さの比較等、津波堆積物等の整理結果、この頭のところにも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:29	今日の資料ちょっとまだ直しができてませんが、自治体等で調査しているような調査結果工程についても、整理をしてご報告したいというふうに考えてございます。
0:02:40	で、8番が基準津波の時刻歴は計10、11はここに記載の通りということになります。私どもの考えている、今後の進め方になるんですが、
0:02:53	上の方黄色の網がかかっているところに少し記載してございますが、
0:02:58	残さず、まず一つ目です。残されている論、審査上の論点の番号で言います。67'9、こちらにつきましては、8番、いわゆる基準津波。
0:03:10	ですね、これの水位時刻歴は形を確定させる前に、影響がない、及びその基準津波が妥当であるということを、我々の方として説明した後に、
0:03:23	679は、
0:03:27	前提条件となって8番の説明をさせていただきというふうに考えてございますので、まずは6、7'9、これについては千野前に1度説明させていただきたいというふうに考えてございます。
0:03:40	②の方ですが、残された論点の10番11番、これにつきましては8番を踏まえましての結果になるというふうに理解してございますので、8のあとに、
0:03:52	1011というふうに説明させていただきたいというふうに考えてございます。イメージで言いますと、67'9、これをまず一つの固まり、
0:04:03	8を一つの固まり中11を一つの塊というふうに考えてございます。
0:04:09	及び先日の審査会合の方でもご指摘ありました、下降側の資料の論理的な説明が少し不十分だと、わかりにくいと。
0:04:21	というようなところもありましたのでこちらについても、まとめ資料の方に十分に反映して説明をさせていただきたいというふうに考えてございます。
0:04:31	めくっていただきまして3ページ目、こちらは参考でということになりますが、
0:04:37	下の方に表がございまして、
0:04:40	今までの審査会合の中でいただけてます、指摘事項のうちまだ我々の方として、回答できてない項目を列記してございます。番号で言いますと、2830、1327、36と。
0:04:55	こちらの5件名になります。
0:04:58	こちらの5件名につきましても、6番、失礼7'及び9番、こちらと紐づいた内容になって参りますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:10	先ほどのページで申し上げました塊の中に連携させて、資料説明をさせていただきますと、いうふうに考えてございます。
0:05:21	それからめくっていただきますと4ページになるんですがこれは完全にまだイメージの段階ですが、基準津波に関しますいわゆるまとめ資料、こちらの方の整理も、
0:05:36	現在並行して進めております。我々の方での今のこの章立てのイメージ
0:05:42	一番から9番、及び最後の参考文献というところまでの並びで、今後整理の方を進めていくというふうに考えてございます。
0:05:53	こちらは参考としてご覧いただければと思っております。
0:05:57	最後のページになりますがこちらはさっきの審査会合でいただきましたコメント、これをそのまま、
0:06:03	転記させていただいているということになります。
0:06:07	私たちからの説明は、ここで終わりにしたいと思います。以上です。
0:06:14	規制庁谷です。今回あれですかね、伝えたかったところとしては2ページのこういう順番でやっていきますよっていう、そこがメインなんですかね。いいですかね。はい。北海道電力松浦アノその通りです。はい。起こりました。
0:06:30	でですねちょっと資料、何か途中説明ありましたけど、資料の残念だったのがやっぱり行政機関の話がここでちゃんと書かれていない。できれば会合でね、もう議論出てるようなことは、
0:06:44	すぐさんも反映してですねこれアップアップ県っていうような位置付けでもあるのでそれは反映して欲しかったなっていう話と、
0:06:51	あとやっぱりこの2ページのところで、加古川じゃあ、論理構成をもう少しこうわかりやすくしたものがいつ出てくるのかなとかそんなのわからないし、
0:07:02	一方でね加古川だけでいいんかという、上昇側と加古が別々で今回議論している中で、セットとして、
0:07:13	整理した時に、上昇側って果たしてあれで、十分にわかりやすかったかというところでもない、上昇側下降合わせて全体の
0:07:24	組み合わせの評価として、きちっとはわかりやすい資料。
0:07:30	にさせていただく、論理構成もしっかりとこう考えていることが伝わるようにさせていただくということになるんだけど、それがいつ、
0:07:38	どの順番にコウフクマレそうなんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:44	はい。北海道電力松浦ず、まず1点目ですね、さっきの審査会合でいただきました9番に関する記載が漏れてたことこれは大変申しわけございません。
0:07:56	しっかり認識して取り組んで参ります。ですのでこの案件につきましては9番の中に包含させて、説明をさせていただきたいというふうに思っております。それから今二つ目のご指摘ありました7番及び7番の上昇下降ですねこちらについても、
0:08:11	論理構成しっかりして、セまとめ資料の中で説明させていただきたいというふうに思います。こちらについての時期なんです、こちらは
0:08:22	我々の方ここには明確には記載してございませんが、ハチバンとのいわゆるここで書いてある二つ目のブロック、ここの中、ここを説明する関連の中で説明させていただくのが、
0:08:38	一番効率的なのかなというふうには考えてございました。
0:08:42	以上です。
0:08:47	うん。谷です。それわかるように、今後説明するときはわかるようにして欲しいんだけど、多分ねもっと早いタイミングなんじゃないかなとそれが必要なのはなぜなら、
0:09:00	上ショウガンオカコガもう何かしっかりとした理屈でOKなんですよっていうのも確認しつつ、
0:09:07	基準津波ミイこれでいいのかっていう議論に入りたいっていうのを考えると、できれば、
0:09:14	六、七級と合わせたところでしっかりと説明してもら方がいいのかなと思うんだけど、その辺ちょっと、
0:09:23	ね、もうもっとユフじっくりとちゃんとやりたいとかいう、希望があるんだしたら、これ今時間軸もはっきりしないんで、どれぐらいのイメージなのか、
0:09:34	よくわからない中で話をしてるんだけど、その辺僕僕の方、僕たちの気持ちとしては、
0:09:41	ちょっとハチバンと一緒にっていうのは、何か遅いんじゃないのかなっていうような印象は今持っているところなので、考えていただけたらと思います。
0:09:49	はい。北海道電力松浦です。今いただいたコメント趣旨理解しましたので、社内の方で検討したいと思います。
0:09:59	あとはねやっぱり何かこの中で、今、結果みないとわかんないですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:06	何かこう、基準津波の策定でクリティカルになるかもしれないというのはやっぱり在庫トンネルとかの話なんだけれども、これがね。
0:10:15	結局どういう考えで今影響の確認の評価をして、どうなったら基準津波になるんですかとか、
0:10:24	どんなやり方やってんですかとかいうのがまだ全然僕ら見えてないような状態で、
0:10:30	多分、何か、
0:10:33	これまでの何か評価で、
0:10:36	こういう、こうやりましたこんな結果になりましたとかいうんじゃなくて、やっぱり最初の考えの部分。
0:10:43	まず早くですね出してもらってそこからコウ、
0:10:48	議論できたらなというふうに思ってるところでして、これ、いつ出てくるんですかねこの 67'9 っていうのが、
0:10:58	はい。北海道電力松浦です。こちらについては現在、鋭意作業をさせていただいて、今の時点で考えていたのは、年内、来週ぐらいの内には、一度、
0:11:11	お出しできるかなというふうには思っておりました。以上です。
0:11:27	わかりました。だから、何かあれですかねこれ資料出てきたタイミングで、例えばヒアリングの前とかに、例えば、こここんな茶筒トンネルアクセスルートトンネルどう評価する。
0:11:41	方針なのか枠組みみたいなのを、面談とかで 1 回話してもいいのかもしれないなど。
0:11:48	今の話を聞いて思ったんですよね。
0:11:51	来週中に火、
0:11:53	資料が出てきてこと 42 回ヒアリングで聞い。
0:12:07	多分できないですよ来週中とかの目標だったらね。
0:12:13	んなので何かその辺コウん、もちろんヒアリングはコウアノ希望呉さされたことになるべくこたえようと思えますけれども、どうやって、
0:12:25	こう進めるのが効率的なんかっていうのは、
0:12:29	言ってください、或いは津波堆積物だって、
0:12:34	僕らの何も見えてないんだけど、
0:12:37	どの範囲で文献がちゃんと網羅的に、
0:12:41	整理されているのかとか、
0:12:44	中身に行く前に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:47	こういう範囲でそろえてるから、抜けがないんですよとか、そういう話とかだって先にしとけばいいような気はするんですよ。だからやり方。
0:12:57	もう少し考えたらいんじゃないのかなってということで、僕は言ってるんだけどその辺工夫してくれたらと思います。いいですかね。
0:13:05	はい。北海道電力松浦です進め方を含めて、ちょっと相談する、社内で相談しました規制庁さんとも調整させていただきたいと思ってます。以上です。
0:13:19	はいお願いします。私の方は確認は以上です。
0:13:48	無線規制庁すべきですけど一応先週の会合の
0:13:52	コメント回答ってのは当然これ8より前ってのは当たり前にか繋がったのか、言った通りで、それを67'9と一緒にするのか小物なのちや若干論点としてあるんですけど、6ハダ子宮プラス、
0:14:06	7組み合わせの付けがいい。
0:14:08	なのか、さらにそこを開けるのかっていうところはボリュームが御社でボリューム次第で考えていただくとしてですね、残念なのはやっぱり6と9が常々なんかスケジュールの資料と毎回、
0:14:19	会合とか2週間に1回の面談で出てきてるんですけど、ただ常にあのスケジュールに沿って進めますとしか書いてなくて、そのA儘田園と作業中なわけですよ、まだできてないっていうところが非常に残念ではあるんですけど、
0:14:32	これ、何で年内に出してくるのが6名'9。
0:14:37	先週のコメント回答は多分年内には出てこないんですかね。
0:14:42	そうですねちょっと今、申し訳ないですはい。はい、わかりました。ちょっと先ほど年内に一度、
0:14:49	提出っておっしゃいましたけど細かいことで恐縮なんですけど、何かまた部分的に出てきて一部なんか解析中とか検討中とかそういうものではなくて、これは会合にかける前提で御社として出せるものを年内に出してくるっていう、67'9ですね。
0:15:04	ということでもいいですか。はい。北海道電力松浦ですすいませんちょっと言葉遣いが申し訳ないです。
0:15:10	日まとめて資料を出したいと思ってます。どっかは抜けすることなく出したいなというふうに思ってます。以上です。
0:15:18	はい。あとこの説明時期についてというあんまり时期的な見通しがわからんのですけど、これだ8番。そうすると12月の年内に紙を出してくると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:29	1月は7日家の見方になるかわかりませんが67'9のグループが、介護を星が買い物ですよね。
0:15:37	そうするとそのあと2次の8番が当然出てくるんですけど、
0:15:42	そうすると何か1月に月中3月中とかそういうぐらいの何かこの時期なんですかねこの後のものとかも含めて、10番11番までイクノとか8番の時期っちゅうのは、
0:16:00	北海道電力齊藤です。実機については今松坂お話ししたように679を、とりあえず、とりあえずって言葉も、申し訳ありませんスタートさせていただいて、
0:16:10	ちょっとその仕上がり具合というかによってということなんでちょっとこれあえて時期は書かないで今おったところなんですけど、今度論点とスケジュールの今度、今後またご提示させていただくことになると思いますんでそれに向けて今社内検討中でございますので、
0:16:27	ちょっと今日は申し訳ありませんまだはっきりとしたところではいうところにはなってません。はい。順序ということで、タテヒライスケジュールのところでは当然火山とか地盤斜面とか、
0:16:40	並行しているものが他にあるわけなので、はい。また全体のスケジュールはまた検討、
0:16:46	後に、そこに反映して説明があるということですね。
0:16:50	はい、わかりました。
0:17:26	ねぎん仕事僕は、やっぱ2ページの、
0:17:30	これ8番基準津波定義位置の時刻歴は形を作成しますってこれ、
0:17:35	は何か論点あるんですか。これ一発でこれは値を使ってるけど、
0:17:42	検討してですよ。
0:17:46	時刻歴八景を作って、
0:17:50	何かこう議論するようなことがあるんだったら上分けてもいいんだけど、何か、
0:17:56	普通に考えたらここはあんまり議論なくて、
0:18:00	粗相だったら101011位もうなんか合わせてね。
0:18:05	検討して、そこ、そこでは一部論点はあるのかもしれないですけどこの変換が順番に説明してるけど、同じぐらいの時期なのか。
0:18:15	その辺ちょっと。
0:18:17	考えた方がいいのかなっていうふうに思いましたよ、だって。
0:18:22	何8番で何の時間がかかるんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:27	北海道電力タケダでございます社内でも議論している中で、正直、7の上げ下げと7'が決まればもうオートマッチクには形が出てきますんで、
0:18:40	基準津波策定自体は、論点がなくてそれらのは形をまとめて、やはりグラフ等、考え方を示した上で貼り付けるということで、さほど論点はないかなというふうに思ってますので、
0:18:53	その辺、1011位を合わせることができるのか、あとはまたその
0:18:59	そうですね。その点も社内で少し整理してご説明したいと思います8自体が、何か論点があるというふうには思ってなくて結構、
0:20:16	矛盾が見えない。
0:20:48	はい。ちょっとこの辺は、考えてること自体は、今考えてることはわかったので今程かな、
0:20:57	いろいろ、
0:20:58	意見というか、確認したこともあって、その辺を柔軟に対応していただけたらと思いますし、引き続きこれは論点スケジュールとかの中で、
0:21:10	どんどんどんどん説明、更新されるようだったらその辺の説明をしていただけたらと思います。特になければ、あともう一つ、
0:21:22	話題があるということですね。どうぞ。
0:21:27	はい。北海道電力野尻でございます。衛藤。
0:21:31	案件としましては11月17日に審査会合でご説明させていただきました基準地震動の年超過確率の参照について、
0:21:42	こちらの介護の方ではご説明させていただきましたが、その後記載の充実もしくはそういう観点での説明性向上させるということで資料の方今一部見直し修正をかけ、
0:21:53	ているところというところそこら辺がこのあたり我々としてわかりにくかったというところに関してちょっと今日、
0:22:02	こういう考えでいるというところまでご説明させていただければと思っております。
0:22:11	で、
0:22:16	いえ、
0:22:18	こちらはいそうですねこちらの、
0:22:21	審査、口頭でご説明をさせていただきます。はい。11月17の資料、
0:22:29	ですねこちらでいうとまず、すいません4ページ。
0:22:33	の方でこちら評価方針ということで書かせていただいているところの社団の方ですね地震動伝播モデルの設定。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:43	の中でノダが、二つ目のマルですね、ノダの評価に補正はいいかを考慮するというので練りな例えば内陸地殻内地震は敷地において内陸地殻内で発生した。
0:22:55	観測記録が獲られていないことから代理校正しますって言うところ。
0:23:01	だとするとちょっと観測記録がないんで内陸補正をするっていうちょっとすごく日本語が飛んでるっていうことをちょっと改めて、
0:23:08	気づいておりますのでこら辺については内陸補正を使うということでそれを、
0:23:14	またありなしをロジックツリーの分岐として考慮するっていうようなところ。
0:23:19	をしっかり整理するというところから観測記録がないんで観測記録の補正はしないというようなところですねそこら辺ちょっと言葉足らなくなってるなというようなところについては直そうと思っております。
0:23:30	ですね、それから下の方ですね監査記録の補正二つ目のポチの方もそうなんですけどこれどうしても上のマルで、評価に用いる補正はいいかを考慮するって言うのとこれが100%考慮するように見えますんでそこら辺は、
0:23:43	こういうのを考慮してロジックツリーの分岐として考慮するっていうような辺りをしっかりと、4ページのほうは整理したいと思っております。
0:23:53	それから次ページを飛びまして例えば6ページですね、6ページの方でこちら地震規模二つ目の○下の箱の二つ目の丸で地震規模は、
0:24:05	奈良今基準地震動においてもついている評価式に加えて竹村をロジックツリーツリーの分岐として考慮すると書いているんですが、こちらちょっと主語述語という意味でいう地震規模はロジックツリーの分岐として考慮するというあたりでちょっと
0:24:20	これも日本語が非常に飛んでしまっていて申し訳なかったなと思っておりますので、こちら評価式。
0:24:26	地震、用いている地震規模評価スギタイワママツダ、それから入倉三明竹村等に加えて武村を用いて評価することとし、これらの値をロジックツリーの分岐として考慮するっていうような辺り、
0:24:40	ですねそこら辺ちょっと日本語としての、
0:24:43	正しさをちょっと整理してまた加えたいと思って。
0:24:47	おります。
0:24:49	それから、あと11ページですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:52	11 ページの方で、
0:24:56	11 ページこちら領域震源モデルの条件設定の中の下の中段の箱ですね白い箱の1に三つ目。
0:25:05	このマルで最大地震規模は、
0:25:08	最過去に起きた地震の最大規模または地震調査委員会に基づいて設定するということで書いているんですこちらも
0:25:18	我々ちょっと資料上こういう書きぶりにしてしまっているんですが実際の流れとしてはまずは過去に起きた地震の最大規模を考慮するというのが基本であると。その時に比較相手として、
0:25:30	地震調査委員会っていうのもあるんでそれがそれ地震調査委員会の規模の方が大きければそれを使いますっていう整理になるんでちょっと完全に並列にちょっと見えてるところがあるんでそこら辺の種々というかあたりを、
0:25:44	しっかり整理して、日本語としては直そうと。
0:25:47	思っております。
0:25:50	ですね、それから12ページに関しましてもこちら12ページの方は先ほど申し上げたところで内陸補正とか観測記録補正の辺りの下の箱の
0:26:02	中の記載ですね、こちらについては先ほどの4ページと同じように、直そうというふうに考えております。
0:26:11	から、あと一つ最後29ページまでちょっと最後飛んでしまいますこちらの会合の中でご指摘いただいておりますところですけどこちら、
0:26:23	我々基準地震動 $S_{s1}$ を上回る周期での超過確率だけを述べてたんですがこちらの方は全体をまず眺めるというところの、
0:26:32	超過確率の数字を入れて、10のマイナス3乗から6乗程度であり、
0:26:36	上回るころでは4から6であるというようなことで、こちらも全体の話をもっと入れた上で、
0:26:45	超えるところの数字を言うというようなことで考えております。主なところはそのような形でそれ以外にもやはり多少枕詞等が不足してるようなところはあるかなと思ってますんでそこら辺をまた全体を見ながらしっかり修正していこうと思っております。今主な直し、
0:27:02	として考えてるところはそのようなところになります。
0:27:04	以上です。
0:27:08	はい谷井です。これはもう事業者みずから、ここはわかりにくいなんて思うところ、直していただいたらと思うんですけれども、ちょっと後は、
0:27:19	今出てこなかった中でね、例えば13ページ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:27	例えばこれ一等監査記録の補正係数を設定しているんだけど、
0:27:33	この補正係数ってこのハザードの中ではこういうのを使いますよっていうことで地震動評価の時にはまた別のものを使っている。
0:27:42	或いはこれ補平均値は平均値で出てきてるんだけどそれは地震動評価で使ってる補正係数でもないとかですね、ちょっと地震の評価でこうやってることと、
0:27:53	ハザードハザード評価の時にはこう使いますよというその辺のはっきりとした何ていうんすかね。正確にこの丸でこれが地震評価で使ってるようなもの。
0:28:04	とらわれないように整理していただきかったり、例えば4ページ後の4ページでロジックツリーの作成とかって書いてますけど、
0:28:15	地震ハザード評価に大きな影響を及ぼす認識論的不確かさを選定して、ロジックツリーを作成するって書いてんだけど、それって一体何なんだろうなっていうのが、
0:28:27	傾斜角とかのことを言ってるんだと思うんですけど。
0:28:31	資料見てもね、何か考え、考えが、それは具体的にどこに当たるのかっていうのが、ちょっと
0:28:40	し、ヒアリングとかをよく聞いている人には分かるんだろうけどっていうような部分は、まだちょこちょこあるのかなと思いますので、その辺の
0:28:52	最後の総チェックみたいなのは、ぜひお願いしますと。
0:28:56	いうのをお伝えしときます。
0:28:59	はい。北海道電力ノジリですはいその通りちょっと決定論側でやってることと、今回のハザード評価でやっているところ、
0:29:08	ウダごっちゃになってるというか、全く同じであればいいんでしょうけど違っていると等の説明も不足してるというところなんで13ページでありあと4ページの方ですね、概念はわかるけどそれがどこにあったのかわかんないっていうあたりは、
0:29:21	しっかりそその観点で他のところも含めてですね、もう1回見直して、
0:29:26	可能な限りは、わかりやすくさせていただきたいと思います。以上です。
0:29:33	はいお願いします他、規制庁が、
0:29:35	他ありますか。
0:29:39	規制庁の名倉です。
0:29:42	こちらの方では、
0:29:45	聞いた話だと、7ページの注記6番もわかりにくいとかそんな話もちょっと出ていました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:11	ここのは、実際の家、
0:30:14	定論として、
0:30:16	実際どういうふうにしてるのか。
0:30:19	ということの関係でいくとどうなってるんですけど、そちらであえて聞いてますけど、北海道電力ノジリニイツアノ※6番のMV2断層の入倉三明竹村に関してはまさにこの※6で書いてある通り決定論側でも地震規模としては使う。
0:30:34	ていない。は、マグニチュード8.7とかっていうようなちょっと余りにも大きい規模になるという乖離があるということで、
0:30:42	この入倉三明タテまだ使わないっていう整理をしていて、それと同じ整理の中で、
0:30:48	ハザード評価をしているということになってます。
0:30:56	ただこの記載今ちょっと浮田もう一度見直してみますが、はい。わかりやすくなるようにちょっと、
0:31:03	考えます扱いとしては変わっていないんですけど、ちょっと記載についてはもう、今一度、
0:31:09	考えます。
0:32:13	特になければ、本日の面談終わりたいと思いますけど、よろしいですかね。
0:32:19	はい。それでは、面談をし、以上で終了します。どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。